

留学生の作品を展示しています

中国から写真の勉強に来ている王超人さんと、絵本製作をしているロシアのイーゴル・ロスリヤコフさんの作品を学生会館で展示しました。

王超人は、普段の散歩途中の何気ない景色の中で面白いと感じた光景をカメラに収めました。

イーゴルさんは、日本（？）を舞台とした物語をロシア語で創作して、自分の描いた絵と日本語でのあらすじを付けました。

普段は会館のロビーで展示していますが、秋まつりでは入口の受付前へ2人の作品を移動させたので、来館した多くの方々に見てもらいました。

今後も意欲ある留学生の作品ができるだけ多く展示していきます。



納涼祭ではじめて浴衣を着てみました

7月26日(土)に汐入小学校の校庭で行われた納涼祭に、学生会館から多くの留学生が参加しました。

みんな浴衣を着るのは初めてで、興味津々。会館のボランティアの方たちに着付けの手伝いに来ていただき、ようやく着れました。

会場では、町内会の方に教わって焼鳥を焼いてみたり、いろいろな屋台をのぞいてみたり。

盆踊りが始まると初めての日本の踊りに戸惑いながら、日本の伝統行事を大いに楽しみました。



学生会館からのお知らせ

ホームページ<<https://yish-yoke.com>>

◆2026年度入居者募集

●入居募集案内及び申請書は学生会館のホームページからダウンロードできます。または学校にお問い合わせください。

●申込期限:2026年1月5日(月)~1月28日(水)17:00必着
※申請の締切日については、学校に確認してください

◆留学生による文化講座

~南アフリカーその多様な自然、文化と人々の暮らし~

●日 時:2025年12月20日(土)13:30~15:00

●会 場:国際学生会館3階ホール

●参 加 費:一般500円中高生300円(茶菓付き)

●定 員:30人(定員になり次第締切り)

●申込方法:前日までに学生会館ホームページからお申し込みください

◆留学生との交流会(日本語または簡単な英語で)

~留学生と話してみませんか?~

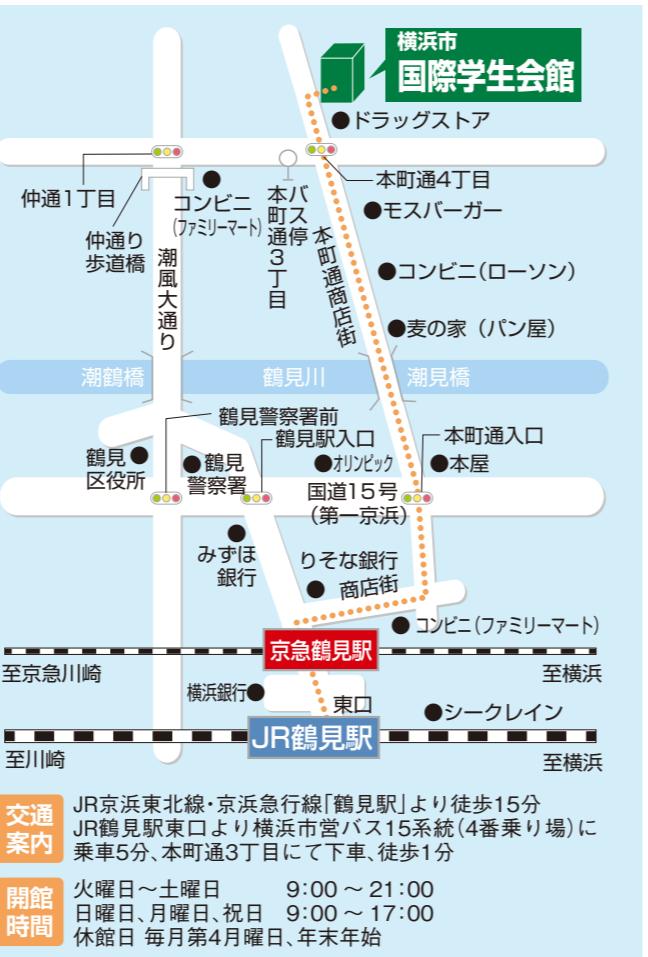
●日 時:2026年1月24日(土)13:30~15:00(日本語のみ)
2026年1月31日(土)13:30~15:00(簡単な英語)

●会 場:国際学生会館3階ホール

●参 加 費:300円(茶菓付き)

●定 員:各30人(定員になり次第締切り)

●申込方法:学生会館ホームページからお申し込みください



よこはま地球村

横浜市国際学生会館ニュース

横浜市国際学生会館は、留学生等への宿泊施設の提供と市民の国際理解を目的として横浜市が開設し、
公益財団法人 横浜市国際交流協会が指定管理者として管理・運営しています。

“子どもアドベンチャー2025”に参加しました



ミャンマーからの留学生の講話

“子どもアドベンチャー 2025”に学生会館も今年はじめて参加しました。これは横浜市教育委員会が毎年主催しているイベントで、夏休み期間に横浜市内の小学生が市内のさまざまな企業・団体を訪ね、働くことや学ぶことなどの多様な内容のプログラムを体験するものです。

学生会館では、会館の説明や施設見学の他に、事業で行っている留学生によるスクールビギットクラスの実施体験や、貸出をしている民族衣装の試着体験をするプログラムを用意して、8月7・8日両日に計4回実施しました。

子供たちからは「外国について知れて楽しかった」とか「色々な国の服が着れてよかった」などの感想が聞かれ、夏休みのよい思い出になる体験プログラムを提供できました。



シリーズ 母国の風景 重慶(中国)

私の故郷は中国の西南部にある重慶(チョンチン)という都市です。長江がこの街を貫き、山に囲まれた地形のため、「山城」と呼ばれています。坂道と階段だらけの街並みは、まるで立体迷路のよう、同じ建物でも一階が別の通りの十階だったりします。観光客はよく迷子になりますが、その不思議さが重慶の魅力の一つです。

重慶の気候はとても特徴的で、夏は蒸し暑く、冬は霧が多くてしっとりしています。湿度が高いため、肌が潤って綺麗になるとされています。だからか、重慶の人は男女とも肌が白くてツヤツヤしており、美男美女が多いんです。さらに、この湿度と山の多い地形は、知らず知らずのうちに人を鍛えます。毎日坂を上り下りして育った重慶の人は体力があり、性格も明るくてパワフル。辛い火鍋を食べながら笑って話すうちに、「火辣(ホーラ)」で情熱的な性格が自然と生まれるのだと思います。

そんな気候と地形の“鍛え”によって、重慶は「アイドルのふるさと」とも言われています。中華人民共和国の斜面にネオンが輝き、幻想的な風景が広がります。

もし機会があれば、ぜひ一度重慶に来てください。山と霧と火鍋の街で、あなたもきっと、重慶人の“火辣”なエネルギーを感じられるはずです。



楊 凱晶
(ヤン カイジン 東京藝術大学)

2025年秋まつり特集

9月21日(日)に開催された
「潮田交流プラザ秋まつり」で、
学生会館はインターナショナルカフェを
出店しました。



天気も良く、たくさん的人が来てくれました



大盛況で3F会場は渋滞発生中!!!



カラフルなお菓子のインドネシア&マレーシアカフェ



好評で早々と売り切れたイランカフェ



イタリアカフェにはOBがお手伝いに来てくれました



ミャンマー衣装のミャンマー人3人、日本人3人さて、どの人が?



ベトナムカフェ全員集合! 和氣あいあい



ボランティアの方も参加の野外特設ステージ



ネパールのおいしいお菓子を召しあがれ



準備の時から陽気なガーナ&コートジボワールカフェ



バングラディッシュの衣装を着て、さあがんばるぞ!



3F受付はたくさんの来場者で大忙し



中国カフェは京劇のお面を飾って雰囲気を盛り上げました



ステージでは有志が「映画タイタニックのテーマ」を演奏。意外な人が意外な才能を発揮しました。

7月12日開催の地域交流会で留学生が自国の料理を提供しました

当日はミャンマー・インドネシア・イランの留学生たちが
それぞれの国の料理を用意して参加してくれました

ヌイ ヌイ ヒライ(ミャンマー 横浜デザイン学院)

地域交流会で、友だちと一緒にミャンマー料理を作りました。みんなに食べてもらえて、とても嬉しかったです。伝統料理を作るのは初めてだったので、少し緊張しましたが、とても良い経験になりました。あと、皆さんから「美味しい」と言われてとても嬉しかったです。



会場はなごやかな雰囲気



色々な料理を楽しみました

アニサ フカリダ(インドネシア 横浜国立大学大学院)

7月12日に開催された地域交流会に参加できてとても嬉しかったです。サテ・アヤム(ピーナッツソースの焼き鳥)、デザートの揚げバナナ、エス・ダウエットなど、インドネシアの代表的な料理を紹介する素晴らしい機会となりました。参加者の皆さんの熱意は予想以上に高く、料理をとても楽しんでいる様子が見られて嬉しかったです。今後もこのような機会が続き、食を通して文化を共有し、繋がりを感じられることを願っています。



ヌイヌイさん(左から2人目)アニサさん(左から3人目)



7月19日開催 留学生との交流会

7月19日(土)に英語による「留学生との交流会」を実施しました。
当初の予想以上の参加があり、来場者からは「英語で交流ができるよかったです」「楽しかった」との感想が多く寄せられ、活気あふれる交流会となりました。



話が弾むと動作も大きく



魚にバターを塗りなさい!
Butter bei die Fische !

この言葉は、もう話をやめて行動を起こすべき時や、要点をまとめて実行すべき時に使います。この言葉はもともと北ドイツで生まれたもので、北ドイツでは魚料理にバターがよく添えられます。バターがないと魚料理が完成しません。つまり誰かが「Butter bei die Fische!」と言うと、「さあ、今すぐ本気を出そう!」または「さあ、ためらわずにやろう!」という意味になります。口先だけで行動が伴わない時や、議論で具体的な決定が必要となった時によく使われます。例えば、友人が「すぐにプロジェクトを始める」と言い続けているだけの場合、「Alright, butter bei die Fische!」と言うと良いでしょう。さあ、結果を出す時が来ましたよ! …と。

今度誰かが問題を先延ばしにしたり、避けたりしていると感じたら、このドイツの言葉を思い出してください。最高の魚にもバターは必要です! カジュアルでフレンドリーなので、日常会話に最適です。



(ラジスピア エミリー ルー エレン 横浜市立大学)